北海道修学旅行における探究学習（GS 活動）

大分県立大分上野丘高等学校
Global Study 推進部

１．Global Study（GS 活動）について

「大分上野丘高校における GlobalStudy（GS）とは？」

VUCA 時代を生きる高校生が、実生活や現代社会の課題を見出し、探究の作法（課題解決の技能や内容の質）を向上させることで、地域に根差した国際的な視野を持つグローバル人材の育成を目的とした活動です。生徒は 1 年次より、「地域の課題解決」「国内外の課題解決」と週に 1 時間の探究学習に取り組んでいます。今回の北海道修学旅行における探究活動はその延長線に位置づくプログラムとなります。

２．北海道修学旅行で取り組む探究活動

（ⅰ）目的

北海道修学旅行における GS 活動の目的は「訪問先のメンターから社会的課題を頂き、その解決に向けて生徒が探究サイクルを回し、その成果を旅行先で発表・交流する」というものです。提供される課題は訪問先特有のもの（**地域性**）かもしれないが、探究を深めていくと日本や地元大分にも関わる**共通性**を見出すことに繋がることが想定されます。生徒は、１年次と２年次前半で培った探究スキルを用い、それらの課題に対してアプローチしていくことが期待されています。さらに、現地高校生や大学生、企業と共に課題解決に取り組み、その成果を議論し合うことで、国際的視野を考慮した、より真正の学びに近い課題解決の経験値を得ることができると期待しています。

（ⅱ）現地メンター（企業様・大学様など）に協力いただいた内容

79 期 2 学年約３２０名は 12 月 3 日～12 月 7 日の日程で修学旅行に参加しました。現地メンターには、12 月 5 日（金）終日（9 時～16 時頃）の日程で、本校に協力いただきました。

協力いただいた内容の概要については、7 月中旬に「事前課題提示」、8 月から本校生徒が GS 活動において探究学習を開始しました。随時オンラインでも各生徒グループにご助言をいただきました。現地では，生徒発表に対するご講評をいただいただけでなく，講義、施設見学、交流、現地調査など多くの学びを得ることができました。

（ⅲ）研修のモデル

◆　訪道前：夏休み前から事前学習の開始

・企業・大学様から頂いた課題を共有する（オンライン）

・学問分野ごとにグループを編成して、課題解決を目指す。※随時メンタリング（オンライン）

◆　訪道中：約 320 名で訪道

・9 時 30 分～12 時　各訪問先の取組や現状を知るための講義及びワークショップ

・13 時～15 時 30 分　探究成果を訪問先でプレゼンテーションし講評していただく

◆　訪道後：現地渡航の経験を活かして探究を進める

・１２月下旬　　探究中間成果を学年で発表

・１月下旬　　代表班が探究成果発表会で発表

・２月中旬　　最終成果発表を県内留学生にプレゼンテーション